

消費者と提携し地域農業を守る



下郷農協



異常気象に負けず
今年も有機野菜生産に
励みます

(2年ぶりの圃場めぐりで
栽培管理を研修)

2022

1・2

No.721

新年のごあいさつ

代表理事組合長 矢崎和廣



謹んで初春のご挨拶を申し上げます

新しい年を迎え、組合員・消費者・地域のみなさまにおかれましては穏やかにお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

終息しつつある新型コロナウイルス感染症の中では多くのご家庭でお身内の方も帰省し、昨年に比べにぎやかなお正月となっている事とお察し致します。

ただ、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染者が徐々に増加する中、一方では感染拡大に不安なお正月ともなっていることでしょうか。

旧年中は、農業をめぐる情勢が一層厳しさを増す中、農協の事業運営にご理解ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

引き続きコロナとの共生

2021年は新型コロナウイルス感染症が拡大縮小を繰り返す中、2月から医療従事者を皮切りに

「ワクチン接種」が始まりました。2022年2月より3回目も始まる予定で下郷診療所でも準備を進めているところです。

感染予防は引き続きお願いするとともにワクチンや飲み薬など医療的な進展にも期待するところです。

「大分県農業非常事態宣言」から「行動宣言」へ

昨年報告された2020年農業センサスの調査結果において、主な仕事で農業の基幹的農業従事者は136万1,000人と前回調査の5年前より39万6,000人減少しました。減少率は過去最大で高齢化が響いたとある一方で、1経営体当たりの耕地面積は初めて3haを超え、規模拡大が進んだと報告しています。

大分県では、農業経営体数が2015年から2020年にかけて4分の1弱の減少、農業産出額は2017年から2019年にかけて3年連続の減少となり、大変厳しい状況となっています。

この事を踏まえ、「大分県農業非常事態宣言」が3月に発令され、関係団体による「大分県農業戦略会議」において課題に対する基本的な方向性と具体的取組について

議論されました。

そして、生産者、農業団体を主体として生産・販売戦略を基に行政が連携・支援し、2022年からは「行動宣言」として取り組む事となります。

下郷農協としても新たな5ヶ年計画の3年目に入り、短期的な取り組みでの計画達成と、計画終了とその後に向けた中長期的な検討も重ねながら、基本である「生産者の所得の向上」と「生産の拡大」を目指して取り組んで参ります。

寅年は成長の年

今年「壬寅年」です。「寅」は「春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態」だとされています。

今後とも合併せず地域に頼りにされる農協であるために、業務体制はもとより商品企画や販売戦略などの課題を時にチャレンジ、時に堅実に、しっかりと草木が枯れることなく成長していきます。

引き続きコロナ禍で様々な変化も出てきますし、何といたってもJAを巡る様々な圧力や弊害など今後も辛い事は多いと思いますが、次に向かって役員一丸となって頑張っていきます。

下郷農協として存在する事を自信に

生産に関する燃料や輸送費高騰、飼料・資材の高騰が顕著な畜産を

はじめ、コメ・野菜などの生産状況はさらに厳しい傾向にあります。そのような中、冠地どり・黒豚と後継者が移住やUターンにより就農するなど明るい話題もあるだけに、何としても再生産に繋がるための役割発揮、地道な声掛けや情報提供など関係を密にしながら生産の拡大につなげて参ります。

「下郷農協があるので助かる」との声が多くなりました。地域で下郷農協として存在する事に自信を持ち、引き続き組合員はもとより消費者や地域の方々から「必要」とされるように努めて参ります。

7年前に「信用事業譲渡」を実施した下郷農協は、「組合員が主人公の農協運営」を基本とし、安全・安心、有機農業を基本とした経済事業で生き残っていく道を追求し、合併せずにやれる道をめざして再スタートしています。

小さい農協の生き残りは決して楽な環境下ではありませんが、農家組合員の営農と暮らしを守り、地域が少しでも発展し、農協も事業計画が達成出来るよう今年1年を精一杯頑張ります。

結びに、組合員、そして消費者の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

栽培方法など活発な意見交換

有機野菜組合が2年ぶり圃場めぐり



下郷有機野菜生産出荷組合（鷹崎満行組合長、組合員60名・1法人）はこのほど有機野菜圃場を巡り視察研修を行いました。

この間、コロナ禍で中止していましたが2年ぶりの圃場巡りとなり、参加者は地域ごとの圃場を5軒ほど視察して回りました。

視察研修では、見学した圃場の肥培管理など栽培方法に関して多くの質問が出され、農家間の意見交換が活発に行われました。

これから露地野菜栽培には厳しい季節になりますが、野菜の寒さ対策をしっかりと行い、より多くの良質野菜が生産・出荷できるように話し合いました。

圃場巡りに参加した農家からは、「久しぶりに圃場の見学ができて良かった。」「自分の栽培方法を見直すのに役に立った。」などと感想が上がり、来年からも継続して開催するように後日の野菜組合役員会の中で協議しています。

（指導販売部 立花）

信連下郷出張所からのお知らせ

- 営業時間変更について
【現行】 9:00～15:00 【変更後】 9:00～11:30、13:30～15:00（11:30～13:30休業）
- コメント入力について
【変更後】 当会以外のJAの貯金通帳を下郷出張所窓口でご使用の場合は備考欄にご記入いただいたコメントは入力できません。
- 実施日：令和4年1月11日（火）より
- 詳しくは、店頭掲示または配布チラシをご覧ください。

JA大分信連下郷出張所（TEL56-3010）

事業運営に対し組合員から具体策求める意見・要望

一斉集落常会で上期決算状況を報告

10月27日・28日、14地区で今年度最初の一斉集落常会が、組合員58名（昨年同期93名・未開催地区戸別訪問21名含む）の出席で開催されました。

常会では農協から、上半期決算見込み（概況）についての報告・説明と各部門からのお知らせ等を行い、組合員から51件（昨年61件）の貴重な意見・要望が出されました。

今回の集落常会では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業への影響、上半期決算に対する具体策を求める意見をはじめ、農産・惣菜加工部の一部製造休止に伴う事業運営や指導販売・購買部門に係る要望・提案など、特に組合員とつながりの強い事項についてたくさんの方の



14地区で集落常会を開催
(写真は行広・梶が原集落)

を頂きました。
本稿ではこれらを中心に、組合員から出された意見・要望の一部を紹介します。
個別に回答の必要な事案については、別途担当者より回答します。

【管理・総務部門に関して】

・ 昨年はコロナの影響で逆に売上げが上がっていたと聞いているが、現在はどうか。

↓ 昨年度は店舗での買物を控える動きや巣ごもり需要の中、共同購入事業等が大幅な伸びを示し、産直関連の売上げは堅調でしたが、1年を経過し一部コロナ前の状況に戻っています。

・ 上期決算の概要に事業運営の検討・実践とあるが、農協として具体的にどのようなことをするのか。

↓ 昨年度、一昨年度と大幅な未達実績の中、今年度事業計画の達成は勿論のこと、過去未達分の解消も含め事業運営に当たることがあり、新たな5ヵ年計画で各部門が掲げた具体策の着実な実践と更なる上積みや、限られた経営資源の中で可能な具体策を引き続き練りながら対応します。

・ 今の農協は何を考えているのかわからない。昔とは全然違っている。

↓ 農業協同組合の歴史と精神を守りつつ、以前は無かった様々な規制や会計制度に対応し事業運営を進めています。農協の進むべき方向性や考え方は、総会や

集落常会、農協新聞等を通じ組合員へ示してきましたが、組合員に理解いただける様、引き続き努めます。

・ 加工事業の人事異動は難しい。商品を作るまで日数がかかるので、極力、異動させないほうが良いと思う。

↓ 農協の加工事業は、商品やアイテム数が多岐にわたり、また資金やロツト的に十分な機械化が進んでいないためマニュアル化が難しい面もあります。頻繁な異動は問題も生じますので、複数の人員が製造作業に携わり、体制に変動があっても安定的な製品製造が出来る様、限られた人員の中で工夫します。

【購買部門に関して】

・ 農協祭りの代わりに購買で売出しをするなら、一緒に駐車場を使って軽トラ市みたいなものをやったらどうか。

↓ 販売の届出等が必要だと思えますので、今回の売り出しには間に合わないと思えます。今後の課題にします。

【指導・販売部門に関して】

・ 雑穀について、特に小豆は3ヶ月くらいで収穫でき価格も悪くない。出荷組合などを組織して脱粒機や選別機を使えば作業は非常に楽になるので、販売できる見込みがあるのならば、取り組んではどうか。

↓ 雑穀は通常販売が不足しており幹旋品で補っています。今までは地元産の有機農産物として販売に取り組んだことはなく需

要量があるのかも分からない状況ですが、販売できる可能性があるか調査します。

【その他の部門に関して】

・ 2週間に一回、中津の整形外科に注射を打ちに行っているが、診療所でも打てるのか。

↓ 下郷診療所でも注射が打てます。また、内尾整形外科の内尾伸行先生が、毎月第2週・第4週目の土曜日午前中に担当医として来られていますので、ぜひご利用をお願いします。

・ 若者（次世代）の主流は分かってるが、過疎化で人口が減る地域は昔からの人が多いのでSNS等は厳しい。

↓ ネットツールでの情報発信はスマホやパソコン所有の年齢層をターゲットとし、地元地域の方々などは新聞折込チラシや農協新聞などの紙媒体を中心に宣伝していきます。

・ 営業に力を入れないと物が売れない。

↓ 営業の取り組みは売上げ基盤を強化し農協経営と農家・組合員の営農を守る重要な内容となりますので、限られた経営資源の中ですが、引き続き対応します。

・ 豆腐類・しょう油がなくなつたのが非常に残念。復活してほしい。

↓ 豆腐については、製造を担う後継者を作れなかった農協の人員体制の課題や、2003年に導入した豆腐製造機械の老朽化もあり製造中止としました。醤油については製造方法等を変更しながら継続してまいりますので、引き続きのご利用をお願いします。

1~2月の診療日について（お知らせ）

1. 担当医師

* 酒見久哲先生（診療科目：内科・小児科・外科）・・・診察：火曜日、木曜日。

〈下郷診療所の管理者として津民診療所より診療に来て頂いています。〉

* 榎木（ちしやき）浩朗先生（診療科目：内科・循環器科・小児科）・・・診察：水曜日。

〈槻木診療所より診療に来て頂いています。〉

* 内尾伸行先生（診療科目：整形外科）・・・診察：第2週・第4週の土曜日（午前）

〈内尾整形外科医院より診療に来て頂いています。〉

2. 診療時間

* 火曜日～木曜日：8:30～（受付）、診療：9:00～12:00、13:00～17:00

* 第2・4週目の土曜日：8:30～（受付）、診療：9:00～12:00、午後は休診となります。

〈2022年1月の診療日〉

〈2022年2月の診療日〉

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1日 休診
2日	3日 休診	4日 休診	5日 榎木先生	6日 酒見先生	7日 休診	8日 内尾先生
9日 当番医 榎木先生	10日 休診	11日 酒見先生	12日 榎木先生	13日 酒見先生	14日 休診	15日 休診
16日	17日 休診	18日 酒見先生	19日 榎木先生	20日 酒見先生	21日 休診	22日 内尾先生
23日	24日 休診	25日 酒見先生	26日 榎木先生	27日 酒見先生	28日 休診	29日 休診
30日	31日 休診					

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1日 酒見先生	2日 榎木先生	3日 酒見先生	4日 休診	5日 休診
6日	7日 休診	8日 酒見先生	9日 榎木先生	10日 酒見先生	11日 休診	12日 内尾先生
13日	14日 休診	15日 酒見先生	16日 榎木先生	17日 酒見先生	18日 休診	19日 休診
20日	21日 休診	22日 酒見先生	23日 休診	24日 酒見先生	25日 休診	26日 内尾先生
27日	28日 休診	3月1日 酒見先生	3月2日 榎木先生	3月3日 酒見先生	3月4日 休診	3月5日 休診

* 1月9日（日）、3月6日（日）は、下郷診療所が日曜当番医となります。

【新型コロナウイルス3回目（追加）ワクチン接種について】

下郷診療所では、新型コロナウイルス3回目（追加）ワクチン接種の対応について、接種可能な医療機関として中津市と調整中です。

* 詳細が決まり次第、下郷診療所・農協本所購買店頭等にてお知らせする予定です。

* お問い合わせ：下郷診療所（TEL56-2361）まで



「環境にやさしい農業を
持続する」

新年、明けましておめでとう
ございます。

今年一年が穏やかな日々であ
りますようにと祈っております。
昨年はこちら下郷の里では、台
風被害や大雨による災害もなく
平穏な一年ではなかったかと思
います。

野菜生産も年明けより順調に
生育、春野菜、夏野菜とつづが
ない出荷状況でした。ただ、異
常気象と思われるような八月の
長雨や九月中頃より約二ヶ月に
およぶ雨降らずの日々には生産
者はとても苦労されたかと思
います。

年末に向けて需要の高まる秋
冬野菜の種まきが雨不足で発芽
生育不良となり、十分な生産量
が確保できないギリギリの出荷
状況のなか、生産者皆さんの努
力でなんとかしのぐ事ができま
した。

自然と隣り合わせの野菜生産
ですが、こうも毎年のように起

▲農協初代組合長が昔「心土不二」
の理念を語った事が忘れられないと
話す有機野菜組合の鷹崎組合長



きる異常な気象に翻弄されては
大変です。

このような異常気象の原因は
地球温暖化が大きく影響してい
ます。

昨年十一月に英国で世界の
リーダー達が集まり、地球温暖
化防止について協議が行なわれ
ましたが、それぞれの国の思惑
がありとてもとても難しいもの
と思います。

そんな状況のなか、私達の有
機野菜生産は微々たるものでは
が、温暖化防止に役立てる事と
思っています。今年一年も元氣
で頑張っ行ってきたいと思いま

女性部 部長 三上 あけみ

謹賀新年 あけましておめでとうございます。

新しい年もコロナのオミクロン株が心配されています。マスク、手洗い、体温測定はあたり前になってきました。

これは、私達個人ができる対策です。当分今迄通りの対策を、続けながらという事でしょうか。

今年こそは希望のもてる年になってほしいです。



女性部とジェンダー

「ジェンダー平等」が流行語大賞に選ばれました。日本は世界の中で、ジェンダー格差は、156カ国中120位、女性国会議員数は193カ国中166位、女性管理職は、G7の中で最下位です。まさに世界の中でジェンダー不平等の国なのです。

私達の暮らしている地域、職場、そして家庭でもジェンダー不平等がいっぱいではないでしょうか。人権週間、障害者週間、男女共同参画等色々言われていますが、ジェンダー平等と結びついていないのではと思っています。

金子みすずさんの詩を思い出しました。「みんな違ってみんないい」女性部は女性が主人公です。女性部の中でジェンダー平等の話ができたらいいなと思います。

今年もよろしくお願ひします。

「家族5人になりました。」

いつも豚肉等、ご利用頂きありがとうございます。豚熱そしてコロナはまだ終わ



▲地元小学校の社会見学で黒豚について説明する石川さん夫婦

りが見えませんが、餌代も上がり続けています。また、温暖化による影響がこれからも心配されます。そんな中、昨年6月、息子夫婦に男の子が生まれました。石川家も5人になり、毎日が孫の蒼真（そうま）中心の生活になっています。

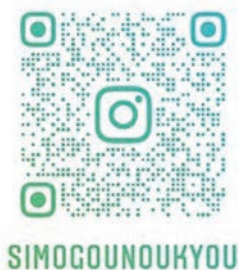
息子夫婦が農協の企画部と組んで、若い人達にとって生活の一部となっているSNSで、農協や商品の紹介を始めています。私達が当たり前前に食べている農協の商品の良さを改めてアピールし、安心とおいしさを頂けていることに幸せを感じられたらと思います。今年も皆様にとって良い年になりますように。本年もどうぞよろしくお願いたします。

Instagram

始めました。

是非フォローお願いします。下郷農協直売所「ふれあいの店」の販売情報や商品紹介などをあげています。Instagram からオンラインショップさつむぎへのアクセスもできます。

<http://shop.simogonoyou.or.jp>



SIMOGOUNOUKYOU

耶馬溪酪農組合 組合長 小池 悟

「今年も美味しい牛乳を消費者へ」

昨年は、飼料や燃料の高騰が続くなか、厳しい酪農業となりましたが、消費者の皆様には、耶馬溪牛乳をご愛飲頂きまして、ありがとうございます。

今年も、安全で美味しい牛乳を生産・出荷出来るように生産者一同頑張っています。



▲農協自己改革の紹介動画で取材に応じる小池酪農組合長

購買ふれあいの店

*中津市プレミアム商品券 取扱中 《2022年5月1日（日）まで》

*ポイントが2倍になる「お誕生日は下郷農協へ行こう！キャンペーン」実施中!!

「産直運動広げて、日本の農業を守りましょう！」

コロナ感染拡大が長期化する中、失業や自宅待機で生活が困窮する人たちが生まれてきました。食べたくても食べられない人たちがいる一方で、お米が余り米価が下がり、その上に政府は支援どころか生産調整を押し付けていると聞きます。

私たちは産直運動を広げることで生産者を支援し、日本の農業を守ろうと呼びかけてきました。少しでも産直の良さを知ってもらおうと、産直運動参加者にアンケートをとり、その結果をニュースにして会員・読者にお知らせしました。

お米では、「とてもおいしい！どこに出しても恥ずかしくないお米」「スーパーのお米を買ったら孫が『産直のお米と味が違う』と言った」。

野菜では、「大きな白菜・みずみずしい大根・色の濃い人参などとてもおいしい」「特に冬場の野菜は立派なものがたくさんで、野菜料理が多くなって身体によい」「野菜をたくさん食べるようになってアレルギーで通院していた皮膚科に行かなくなった」「季節のものや珍しいものがあるって毎回楽しみ」などの回答が寄せられました。

同時に募集した「伝えたい『子どもが喜ぶお米料理』レシピ」にもたくさんのお米の料理が寄せられ、レシピを紹介しました。

「おいしかったよ～」という声が寄せられています。

コロナ感染が長引く中、試食会などに取り組むことが難しいですが、工夫しながら産直の良さを伝え、日本の農業を守る運動にこれからも微力ながら取り組んでいきたいと思っています。



伝えたい「子どもが喜ぶお米料理」レシピ

ここからはお米を使った楽しくおいしいレシピの数々をご紹介します！

【カレー風味の炊き込みごはん】

米300g（2号強） ツナ缶180g、マッシュルーム（缶）50g、玉ねぎ120g、バター20g、塩2g、水390cc、スープの素6g、パセリ6g、カレー粉2g、トマトケチャップ30g

- ①米は洗ってざるにあげ水を切る。
- ②玉ねぎはみじん切り、マッシュルームはざく切りにする。
- ③バターで玉ねぎを透き通るくらい炒め、マッシュルーム・カレー粉・ケチャップの順に炒める。
- ④米と水、③とスープの素・ツナ缶・塩を加えて炊き上げ、パセリを散らす。



【簡単鮭ちらしずし】

米300g（2号強）、だし昆布2g、水450cc、合わせ酢（砂糖15g塩2g酢25g）、塩鮭75g、しらす干し20g、塩0.6g、白ごま15g、きゅうり、錦糸卵、きざみのり

- ①米は洗ってだし昆布を入れて少し硬めに炊き、合わせ酢ですし飯をつくる。
- ②塩鮭は蒸すか焼いて骨を取り除きほぐす。
- ③きゅうりはうすいいちょう切りにして塩もみし、絞っておく。
- ④錦糸卵をつくる（炒り卵でもよい）。
- ⑤①に②③とごまを混ぜちらしにする。
- ⑥卵・きざみのりを天盛りにする。



【キムチごはん】

炊きたてごはん小さく切ったキムチを混ぜる。

「もうそろそろいいコロナ」

新年明けましておめでとございます。

今年こそはコロナ禍からサヨナラしたいと心から思っています。

私たちの暮らしはコロナ禍のせいで大きく変わりました。運営委員会や交流会も中止が相次ぎ、意見の交換もままなりません。

やはり人間、互いに顔と顔を

つき合わせ、目を見ながら話すのが大事なんだとあらためて実感させられました。

また、時節がよくても旅行に行かず、天気がよくても外出せず、ほとんど家に閉じこもっているので体調が悪くなっている人が多いようです。体調が悪いと精神的に悪い影響がでます。

こないだ聞いたお客様の話では、ネットショッピングで各地のおいしいものをあれこれお取り寄せで注文して食べていたせいか、健康診断でコレステロールが高いと言われたとか。また血糖値が上がってしまった、食事制限し、毎日散歩の日々（歩み

がのろく、いつもおじいちゃん、おばあちゃんに追い抜かされているらしいです）。病院代だつてばかにならないはず。これはけして私の話ではありません。

コロナ禍のなかった以前のようには、おいしく安全なものを食べ、散歩や運動もし、たまには旅行もし、身体的にも精神的にも健全な暮らしを取り戻したいものです。

望んでいるのは背伸びするよくなぜいたくな暮らしでなく、当たり前前の普通の暮らしです。今年こそ下郷祭りでみなさんの元氣な笑顔を拝見し、黒豚も

つ鍋とか牛井とか食べたいなあと思っています。（ほどほどにね）今年もどうぞよろしくお願ひします。



「脱炭素社会めざして」

今、一番気になっているのは二酸化炭素などによる気候変動（温暖化）です。

日本では大型の台風や水害が増えています。外国でも大きな山火事や竜巻が起き大変な被害が出ています。

孫たちが大人になる頃はどうなるのだろうかととても心配です。

それで出来るだけ石油を使わない生活を送ろうと思っています。

車にできるだけ乗らず公共交通機関を利用し、プラスチック製品も減らす。

食生活では国産のものを食べるよう心掛け、パンよりお米、ビニールハウスで石油を焚いてできる果物や野菜は極力食べないようにしています。

輸入食料品は必ず石油を使って運ばれてきますからね。

政府に脱二酸化炭素社会を求めつつ、私たちが脱石油の生活を目指しましょう。

農協さんもお一緒に頑張りましょう。



地元小学生が社会見学

地域の畜産現場を訪問

下郷・城井・津民小学校3年生9人が、社会見学で地域の畜産現場や牛乳工場を見学、子ども達が給食で飲んでいる牛乳の出来るまでを学びました。

牛乳工場では、受け入れた生乳が殺菌されパックに詰められていく様子を興味津々で見学、その後、鎌城地区の脇坂牧場で、こだわりの耶馬溪牛乳の乳牛や、

生まれたての子牛が飼育されている現場を見学しました。
また黒豚生産地を訪問、黒豚と触れ合いながら石川栄二さんから6ヶ所の白い部分がある黒豚の特徴や与えている餌のこだわり等の話を熱心に聞いていました。

牛乳は130度で2秒温めて消毒する事が分かりました。安全に気を使っているんだなと思いました。

下郷小 (S・K)



牛はトウモロコシやお米を食べる事や、塩分も必要という事を知りました。毎日朝早くから搾ると聞いて驚きました。

津民小 (E・H)



牛乳工場に行ってバイキンは入っていないか検査するのが大変そうだなと思いました。機械で毎日3,500個も作っていると聞いてビックリしました。カフェオーレはとっても美味しかったです。これからも安全で美味しい牛乳をほくたちに届けて下さい。

津民小 (E・H)

和牛とホルスタインを育てている事が分かりました。色々な工夫をしていることがすごいなと思いました。今後に活かしたいです。

城井小 (R・T)



ふだんは見られない黒豚を見せていただき有難うございました。初めて知ったのは黒豚に6カ所白い部分があることです。勉強になりました。

下郷小 (Y・Y)

牛のしっぽはハエを追い払うために振り回している事が分かりました。

下郷小 (S・K)



ケンカ中に他のブタが中に入ってケンカを止めるという事が分かりました。

城井小 (K・S)



大豆かすとトウモロコシをまぜてエサを作っている事や薬をなるべく使わない事を知りました。また、たいひ工場もあったのでビックリしました。豚はとてもかわいかったです。

パークチャーという美味しい豚肉を育ててこれからもお仕事にがんばって下さい。

津民小 (E・H)



地元中学生が野菜収穫作業

地域体験活動の授業で

11月1日、耶馬溪中学校の地域体験活動で有機野菜生産出荷組合が生徒を受入れ、有機野菜の収穫や栽培管理の作業を一緒に行いました。

生徒を受入れた鷹崎満行野菜組合長は、農業従事者の激減状況や日本の食料自

給率などについて説明、農作業体験を通じて地域農業の大切さを伝えていました。

体験活動を終

えた生徒からは、「実際に作業を体験し畑仕事は細かい作業が多く大変でしたが、鷹崎さんは大変な作業をした後の汗をかくのは気持ちがいいとおっしゃっていたので凄いなと思いました。」「最近おじいちゃん、おばあちゃんの手伝



鍬を使って里芋の収穫を体験する生徒たち

いをしていなかったから今度手伝いに行こうと思いました。」
「大切に育てた美味しいさつまいもを食べる事が出来て嬉しかったです。」などの感想が寄せられました。

理事会だより

10月28日に第7回定例理事会、11月29日に第8回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

【第7回定例理事会】

報告事項：①中期事業計画終了時の見直し対応について
②その他

提出議案：①9月決算承認の件について
②自動車共済損害調査業務の分担に関する協定の締結について

【第8回定例理事会】

報告事項：①県常例検査結果概要について
②集落常会開催結果概要について
③監事監査結果概要について
④その他

提出議案：①10月決算承認の件について

報告事項の中期事業計画終了時の見直し対応については、2015（平成27）年3月22日の信用事業譲渡に伴い策定した10カ年事業計画の終了を見据え、譲渡資金不足の償還や信連下郷出張所の運営動向見通し等について概要を報告しました。

県常例検査結果概要については、2021年3月末基準日で10月19日～22日の4日間行われた検査の内容、監事監査検査結果概要については、11月9日～11日の3日間行われた2021年度上半期決算に係る監査内容の概要が報告されました。

提出議案の10月決算承認の件については、事業利益△8,354千円の計画に対し△16,981千円で8,627千円の未達でした。計画対比では収益部門で診療所1,188千円・販売835千円・共済794千円等が達成、牛乳4,668千円・惣菜3,706千円・食肉2,276千円等が未達成でした。

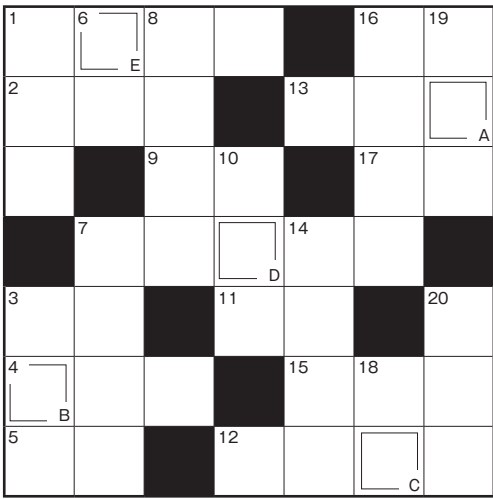
読者プレゼント
パズル?

頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

- タテのカギ
1 オイルショックともいわれる——危機
3 分度器で測ります
6 栗の実のトゲトゲ
7 春の七草の一つ。ダイコンのことで
8 遊園地で——コースターに乗ったおでんに添える黄色い薬味
10 年下の女きょうだいのこと
16 屋外で行うことも多い教科ミカンのものは手でむけます
18 おしゃれな——でフランチを楽しんだ
19 「オリオン」「おおいぬ」「カシオペア」といえるは
- ヨコのカギ
1 1月の第2月曜日は——の日。国民の祝日です
2 旅支度で、旅行かばんに——を詰めた
3 下手な鉄砲も——撃ちゃ当たる
4 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
5 水が混じって軟らかくなった土
7 これが三つで三振
9 土を盛り上げて作ります
11 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
12 「住めば都」とか「猫に小判」とか
13 果物——を使ってリンゴをむいた
15 遠回りをすること
16 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
17 やっぱり自分の——が一番落ち着く



先月号のこたえ



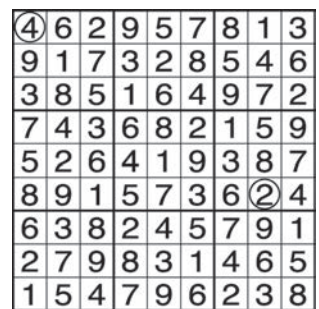
先月号のこたえ 「カンツバキ」
当選者
福岡市 早良区 飯田 久代 様

数独 (すうどく)

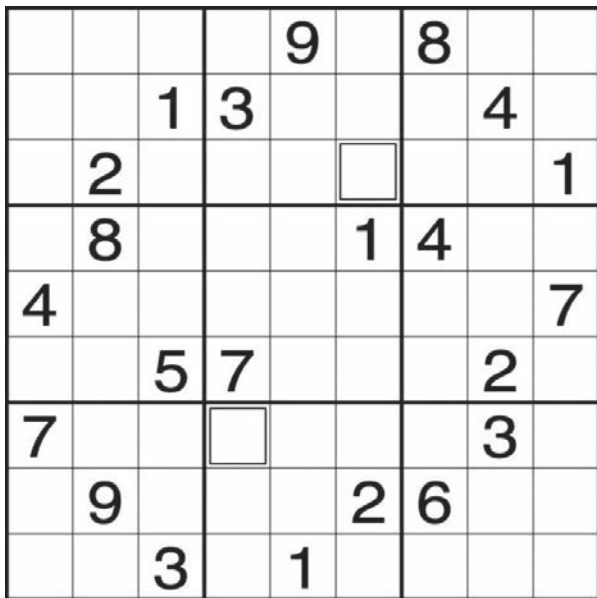
Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

《数独のルール》
① 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
② タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

先月号のこたえ



先月号のこたえ ②+④=6
当選者
耶馬溪町 柿坂 林睦美 様



解答は次号で



※読者プレゼントは終了しました。